

# テキスト検索結果表示

現場で役立つ機械の知識No.1第1週 - Google Chrome

https://recipelngeins.netcoms.ne.jp/e-cogaku/sites/e-cogaku/contents/150128-1-ghTv/index.html#

## 国際単位系 (SI)

1.1 国際単位系 (SI) のしくみ

国際単位系の略称はフランス語の *Système International d'Unités* (略称では、*International System of Units*) の頭文字をとったもので、正式名称は別「メートルと呼ぶのである。そのしくみは簡単に言えば、基本単位(長さ)、補助単位(質量)及び派生単位(温度、電圧、電流)により構成されている。ここでは、各単位の間に付けられる接頭辞(「キロ (K, 10<sup>3</sup>)」)も併記する。

このページでは、国際単位系である SI 単位について学習する。ご家庭のように日本ではよく使われる単位だけを確認していたが、国際的な単位である SI 単位に準拠したものが多くあり、確認が必要であった。SI (Système International) では、1970 年代にこの SI 単位系が採用された。日本では、1980 年に「計量法」の改正とともに、この SI 単位系が採用されるようになった。

その結果、これまで使われてきた SI 単位系と SI 単位の単位に戸惑う人が多かったものである。確認する際は、単位と接頭辞の組み合わせ、その単位によって数値が変わる単位、というように確認しておけばよい。

このあたりは確認事項で、SI 単位について確認しておきたい点がある。後述のとおり、単位と数値との関係についてお話しする。先に元の単位を確認する。

2

5

3

2

7

8

15

16

該当検索語句がハイライト表示されます。

検索語句を含むページがサムネイル表示されます。クリックすると該当ページにジャンプできます。